

令和7年度 世田谷区立芦花中学校 学校関係者評価 報告書

I 重点目標の成果と課題

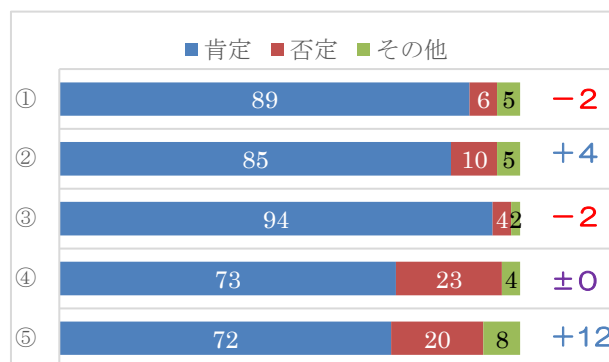
《 重点目標 》

- 問題の解決に向けて、自ら学びへの意欲をもち、計画的に追究し、筋道を立て考え、表現する力を育成する。
- 向上心をもって、主体的に取り組み、自己肯定感、自己有用感を高めるとともに、自他を尊重し互いに認め合いながら、人間関係を形成する力を育成する。
- 健全な生活習慣を身に付け、健康で安全に生活するとともに、創意工夫しながら、ものごとを最後までやり抜く力を育成する。

右の数字は、昨年度と同じ項目の、増減%を表しています。
 青字の数値は、昨年度に比べ、肯定的（改善された）ものです。
 赤字の数値は、昨年度に比べ、否定的（改善が必要な）ものです。

1 「学びへの意欲、表現力の育成」について 関連する評価項目(生徒評価)

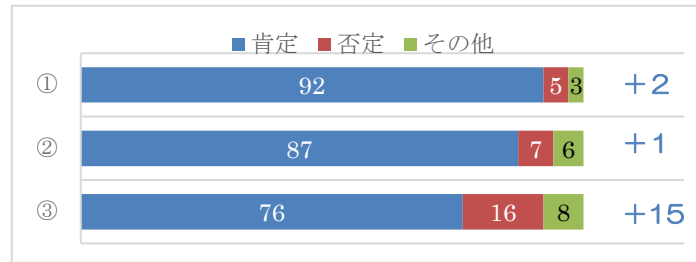
①	先生は、映像やタブレットなどのICTを利用し、分かりやすい授業をしている。
②	あなたは、話し合い等で自分の考えを自分の言葉できちんと伝えることができますか。
③	授業では考えたり話し合ったり、発表しあったりする機会がある。
④	あなたは、学習面での課題について、自ら計画的に追求したり、筋道を立てて考えたりして解決していますか。
⑤	私は、家庭で宿題やeラーニングなどで学習をしている。



質問①～③の結果から、本校での学習指導において、授業におけるICT機器の活用や考えを深める活動及び、対話的な活動に関する肯定的な評価が高いことがわかります。先生方の授業改善が充実期を迎え、ツールの1つとして普段から積極的に活用されていることの表れであると捉えることができますが、①③については昨年度から少しだけ否定的な数値があがっています。ICTの活用や探究的な学びが定着しつつある中、さらに意欲を引き出してくれる授業を期待しているのかもしれませんが。質問④⑤は生徒の学習に向かう姿勢を表しています。注目すべきは、⑤について、昨年度比+12%向上している点です。タブレットを活用した課題の多くが、提出方法や締め切りがわかりやすく、取り組みやすいものであると考えられます。自ら学ぼうとする姿勢の育成、計画的な家庭学習への取り寄せ方をより工夫することで、生徒が自主的に家庭での学習習慣をつけられることを期待しています。

2 「生徒の自立や自分らしさづくり、他を思いやることなど」について 関連する評価項目(生徒評価)

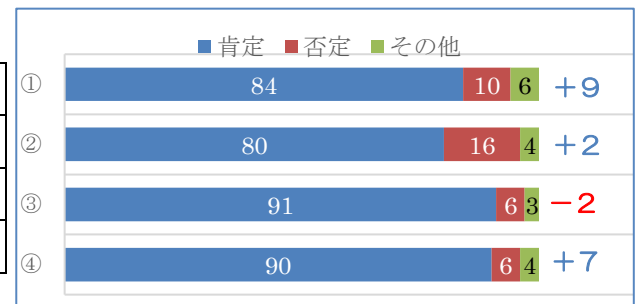
①	私は、学校での過ごし方やルールについて考えて行動している。
②	あなたは、自他を尊重し互いに認め合いながら、人間関係を築いていますか。
③	あなたは、自分がみんなの役にたっていると実感したことがありますか。



質問①から生徒たちは学校生活について、過ごし方やルールについてしっかりと考えられていることがわかります。昨年度同様、9割以上の生徒が考えて行動しているという結果は大変良い傾向であり、落ち着いた学校生活を過ごすことができていることがうかがえます。また、8割以上の生徒が、友人との関係性について良好な関わりをもとうとしていることも望ましい結果です。自分が他の役に立っているかという点での肯定的評価が15%向上しています。学校生活や行事での役割、避難所運営訓練や地域ボランティア等への参加を積極的に促し、活躍の場を与えるなど、自己肯定感、自己有用感を育むような取り組みを先生方や地域、ご家庭で働きかけをした結果ととらえることができます。引き続き、生徒が学校、地域で活躍し、褒められる機会や場面を増やすなど、生徒の自尊感情を高められるような取り組みをお願いいたします。

3 「健康で安全な生活と最後までやり抜く力」について 関連する評価項目(生徒評価)

①	あなたは、規則正しい生活習慣を身に付け、健康で安全に生活していますか。
②	私は、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。
③	学校行事は、達成感がある。
④	学校生活は、充実している。(昨年度は「達成感がある」)



昨年度同様、生徒の体力向上の機会や行事への取り組みが充実している様子が伺えます。昨年度の課題であった「規則正しい生活習慣」については、9%上昇しており、生徒の健康や安全に対する意識の向上が見られます。正しい生活習慣は、学校生活だけで身につくものではなく、各家庭との連携が鍵となりますので、家庭と学校が連携できている結果、ととらえることができます。行事における達成感は昨年度同様、非常に高い数値となり、その教育的効果の高さ、有用性を表しています。引き続き、ご指導お願いいたします。

II 学校関係者等評価アンケート結果について

各項目について、項目内で△肯定的評価(A, B)の高かった項目、▼否定的評価(C, D)の高かった項目を示しました。

〈学習指導について〉

		割合	質問項目	
△肯定的評価の多かった項目	生徒	95.9	先生は課題について自分で考えたり友達と話し合ったりする時間を授業の中で取っている	-0.2
	保護者		今年度は質問項目に入れていない	
▼否定的評価の多かった項目	生徒	10.5	先生は、提出物やテストなどを分かりやすく評価している。	+1.5
	保護者		今年度は質問項目に入れていない。	

授業において、先生方による一方通行の授業ではなく、「主体的、対話的で深い学び」が定着し、学びあいを進めていく学習指導について生徒が肯定的に捉えていることがわかります。一方、提出物やテストの評価の仕方、板書やプリントの内容や表記を分かりやすいものにしていくことに関しては、今後検討の余地があるようです。

〈生活面について〉

		割合(%)	質問項目	
△肯定的評価の高かった項目	生徒	91.9	私は、学校での過ごし方やルールについて考えて行動している。	+1.4
	保護者	80.4	本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	+0.7
▼否定的評価の高かった項目	生徒	20.6	スマホやタブレットの使用時間や使い方について、家庭で決め、私はそれを守っている。	初項目
	保護者	41.2	スマホやタブレットの使用時間や使い方について、家庭で決め、子どもはそれを守っている。	初項目

昨年度同様、生徒も保護者も学校での過ごし方やルールについて肯定的な評価が高いということは、落ち着いた学校生活を送っていると捉えることができます。生徒自身が学校での過ごし方やルールについて、自主的に考えられるような機会を意識的に与えていただくことを期待しています。今年度、新しい項目として、「スマートフォンやタブレットの使用について」を加えました。生徒の2割、保護者の4割が、それらの使い方について、課題であるにとらえていることがわかりました。実際にSNSの使い方が課題でトラブルになっている事案が発生し、生徒が心を痛めたり、先生方がご指導で苦労されたりしているようです。スマートフォンの使い方については持たせている保護者の責任として、ご家庭で管理、ご指導していただくとともに、学校でも正しい使い方や生徒一人一人のリテラシーを高めるご指導を引き続きよろしく願いいたします。

〈学校行事について〉

		割合(%)	質問項目	
△肯定的評価の高かった項目	生徒	93.9	学校行事は楽しい	-1.0
	保護者	92.0	学校行事は、子どもにとって楽しい。	-4.1
▼否定的評価の高かった項目	生徒	6.1	先生は、生徒の意欲を大切にしている。	-0.4
	保護者	7.9	本校は、子どもの意欲を大切にしている。	+3.8

昨年度に引き続き、学校行事に関しての肯定的な数値が9割を超え、非常に高い結果でした。体育祭の閉会式を体育館で行ったことは、雨天による偶発的な対応でしたが、保護者が参観しやすく、子どもたちにもまとまりが感じられて良かった、という声もありました。一方で、「楽しさ」や「意欲を大切にしている」といった評価については、保護者の否定的な数値が微増しています。行事への参加が苦手な生徒もいると思いますが、3年生が実施した創作ダンスのような、生徒の自主性を尊重した協働的な活動を更に取り入れるなど、工夫することで、この結果も改善されるのではないのでしょうか。今後の取り組みに期待いたします。

〈キャリア教育について〉

		割合(%)	質問項目	
△肯定的評価の高かった項目	生徒	78.3	私は、キャリアパスポートに書いた目標について、考えて行動している。	+12.0
	保護者	69.8	本校は、子どもの進路や将来のことについて考える授業がある	+10.9
▼否定的評価の高かった項目	生徒	20.0	本校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。	-2.1
	保護者	17.8	本校は、進路や将来の仕事に関する情報を提供している。	-6.4

全ての項目で、昨年度を大幅に上回る数値となりました。授業において進路や将来のことについて学習する機会をもつことができたようです。特に1年生のボランティア活動や2年生の職場体験が生徒にとって貴重な学びの場となったのではないのでしょうか。プロジョブトークは、毎年3学期に行われるので、この評価には反映しづらいかもしれませんが、職業観を育てるには、良い取り組みだと感じます。キャリアパスポートの活用方法や進学指導に関する情報提供についても、昨年度より否定的な数値が減りました。進路に関する情報提供など、さらに充実させていけるように、工夫してくださることを期待しています。

〈先生(教職員)について〉

		割合(%)	質問項目	
△肯定的評価の高かった項目	生徒	88.5	先生たちは、生徒にいていねいに指導している。	-1.9
	保護者	85.3	本校は、丁寧に指導している。	+8.2
▼否定的評価の高かった項目	生徒	13.9	先生たちは、生徒が相談しやすい関係づくりをしている。	初項目
	保護者	16.8	本校は、子どもや保護者が相談しやすい環境である。	初項目

昨年度同様、総体的に先生方は生徒にいていねいに指導していることがわかります。あらためて先生方の日々のご指導に感謝いたします。特に、保護者に関しては肯定的な数値が大幅に向上しており、先生方の熱意がご家庭に届いていると感じます。一方、「相談のしやすい環境づくり」については1～2割程度の生徒及び保護者が否定的な評価を出しています。指導のいていねいさはあるものの、相談しづらいと感じる環境にあるのかもしれませんが。日々の信頼関係の構築はもちろん、先生方の働き方改革を進めることで、話しやすい環境、場面を少しずつ整備できると思います。地域人材も活用しながら、進めていただくことを期待します。

〈学校運営について〉

		割合(%)	質問項目	
△肯定的評価の高かった項目	保護者	86.8	本校は、保護者に指導の重点を伝えている。※	+21.8
	地域	91.3	学校の重点目標が明確である。	+7.0
▼否定的評価の高かった項目	保護者	13.3	本校は、保護者に指導の重点を伝えている。※	-5.7
	地域	13.0	地域の意見に対して、学校はいていねいに説明・対応している。	+2.4

「指導の重点について伝えている」の項目について、肯定的な回答が昨年度より大幅に向上しています。保護者会や行事、学校だよりなど、様々な機会でも、学校についての指導の重点を保護者や地域に伝えられているようです。今後、さらに多くの保護者や地域の方に、学校の指導の重点をわかりやすく伝え、教育活動にご理解、ご協力いただけるよう、働きかけをお願いいたします。

〈情報提供について〉

		割合(%)	質問項目	
△肯定的評価の高かった項目	保護者	89.9	本校は、学校便りなどで、保護者に情報を提供している。	+0.8
	地域	95.7	学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。	+6.0
▼否定的評価の高かった項目	保護者	22.7	「学び舎」の区立(幼稚園)小学校について情報が提供されている。	-2.2
	地域	21.7	「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	-4.8

学校からの情報提供については、保護者・地域とも肯定的な評価が得られたようです。日常的に行っている学校だよりの配布とホームページへの掲載、ホームページ上の「新着記事」の更新の成果が表れたと考えられます。「学び舎」に関する情報についても昨年度より、否定的な評価が減少しましたが、芦花小、八幡山小とも協力し合いながら、引き続き工夫改善をお願いします。

〈地域との連携について〉

		割合(%)	質問項目	
△肯定的評価の高かった項目	保護者	64.5	本校は、地域の活動などに協力的である。	+10.8
	地域	78.2	地域の人や施設を教育活動に活かしている。	+0.7
▼否定的評価の高かった項目	保護者	15.1	本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	+0.5
	地域	26.0	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	+3.3

生徒が地域活動に参加する機会も増え、活躍する姿も多く見受けられました。地域ボランティアへの参加は、定期考査等、日程を事前に調整していただき、改善された成果であると考えられます。次年度も、生徒が参加しやすいよう、地域の団体との日程調整を進めていただくとよいと思います。現在、学校が進めている、子ども食堂や児童館との連携を始めとして、今後、さらに地域人材や施設の活用をしていただき、学校と地域の連携を図ることを期待いたします。

〈学校の安全性について〉

		割合(%)	質問項目	
△肯定的評価の高かった項目	保護者	85.9	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	-0.3
	地域	91.3	学校は、安全性を高めようと、地域と協力している	+1.8
▼否定的評価の高かった項目	保護者	8.4	本校は災害時の対応を子どもや保護者に提供している	+4.2
	地域	8.6	本校は、安全性を高めようと地域と協力している。	+0.7

学校における安全指導については、保護者・地域からも肯定的な評価で8割以上の高い理解を得られています。避難訓練やセーフティ教室の他、避難所運営訓練も実施し、本校の生徒も参加しました。昨年度同様、安全に対する意識の向上がなされた結果ではないでしょうか。次年度は、防災キャンプを計画しているとうかがっています。これを機に、子どもと保護者に、災害時の対応について理解を深めていただけることを期待しています。学校の施設面では今年度、次年度と、工事が実施されています。生徒の安全を第一に考えながら、進めていただければと思います。

〈学校全般について〉

		割合(%)	質問項目	
△肯定的評価の高かった項目	生徒	87.1	学校生活は、楽しい。	-5.4
	保護者	87.1	本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	+4.4
▼否定的評価の高かった項目	生徒	46.5	「学び舎」の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。	+1.8
	保護者	16.9	子どもは、体力の向上や健康的な生活に取り組んでいる。	-1.7

生徒・保護者とも8割以上の肯定的な評価が得られたことは喜ばしい結果です。昨年度に比べ、肯定的な回答が生徒はやや減少、保護者はやや増加していることに注視しながら、引き続き、子どもが楽しく通える学校づくりを進めていただくことを期待します。保護者は本校での教育活動が子どもの成長につながっていると感じています。これは日々の教職員の努力と保護者の協力があつてこそのことです。一方で、アンケートの回答で「わからない」を選択した地域や保護者の方が一定数おり、学校で行われている教育活動をより多くの方々に知っていただくことが課題として挙げられます。次年度以降も充実した教育活動を期待いたします。